### 令和 3 年度 都道府県医師会 運動・健康スポーツ医学担当理事連絡協議会

と き 令和 3 年 10 月 8 日 (木) 13:00 ~ 15:00 ところ 日本医師会館及び都道府県医師会館 (Web)

[報告:理事 茶川 治樹]

第1936号

#### 挨拶

#### 日本医師会会長 中川 俊男

運動が健康寿命の延伸に資するという多くのエビデンスが蓄積していることから、運動・健康スポーツ医学委員会において新しいテキストの作成を進めている。また、新型コロナウイルス感染症の第5波は終息の方向に向かっているが、流行の長期化によって、国民が運動不足に陥っている現状を把握する必要もある。新しいテキストや運動関連資源マップが健康・スポーツ医の活動に資するよう、ぜひ忌憚のない活発な議論をいただきたい。

#### 議事

# ①「関係者の連携推進と臨床に役立つ健康スポーツ医のテキスト」について

### 日本医師会運動・健康スポーツ医学委員会

委員長 津下 一代

日本医師会が作成したスポーツ医学の知識に関する本は平成22年に作成されたもので、10年以上経過しているため、新しく「関係者の連携推進と臨床に役立つ健康スポーツ医のテキスト」(仮題)を作成中である。

運動療法・指導や、スポーツ医学の基礎知識、 内科疾患や整形外科的疾患の運動療法、障がい者 の運動・スポーツ、地域での運動時の救急対応、 スポーツ事故の対応などが盛り込まれる予定であ る。

#### ②コロナ自粛後の身体変化について

日本臨床整形外科学会理事長 新井 貞男 自粛生活を強いられることが、どのように運

動機能に影響を与えたかを検証すべく、日本臨床 整形外科学会の会員医療機関を受診した方を対象 に、コロナ自粛後の身体の変化に関するアンケー ト調査を実施した。

1回目: 12,254件(期間; 令和2年7月20日~ 8月12日)

2回目:12,311件(期間;令和3年3月8日~ 4月30日)

コロナ自粛中は、自粛前に比べ小中高生では運動する人の割合が減少、20代から50代においては増加、70代、80代は減少していた。

自粛解除後、3分の1近くの人が体調変化を訴えていた。コロナロコモなどの身体的変化があった人が24.9%、コロナストレスなどの精神的変化があった人が32.3%いた。

コロナロコモの頻度は、40代から急上昇していた。

コロナは、児童生徒にも影響を及ぼしており、 「体力がなくなった」「疲れやすくなった」「気力 がなくなった」との訴えが小中高と学年が上がる に従って、その頻度は多くなっていた。

自粛後1年経過した状態では、全ての年代に おいて、昨年の自粛前より運動している割合が減 少していた。

# ③健康スポーツ医学再研修会(Web 開催)の状況について

#### 日本医師会常任理事 羽鳥 裕

昨年からの健康スポーツ医学再研修会は全国で141件(対面85件、Web56件)であった。なお、健康スポーツ医学再研修会を実施していないのは山口県を含めて5都道府県であった。Webでの

開催によるメリットとして、「参加者が増えた」、「場所の確保が不要で経費削減になった」等の意見があった。デメリットとしては、「運営する側の手間がかかる」、「臨場感がなく質問が出なかった」等の意見があった。

#### 協議

#### 運動関連資源マップについて

#### 日本医師会常任理事 羽鳥 裕

運動が必要な方が安心して運動ができ、さまざまなニーズに応えることができる施設、場所、専門家の情報の提供を目的に、自治体単位で運動関連資源(場所・人)の見える化(マップ)を作成することを提案する。運動施設の状況、運動指導者の情報、運動に関与可能な医療機関の状況(健康スポーツ医の配置や運動処方実施の有無、運動負荷試験・整形外科的メディカルチェック実施状況等)があると望ましい。マップ構築の課題として、医療者側だけでなく、患者に情報提供しやすい内容にすること、運動施設側・運動指導者側のニーズの把握も必要である。行政・民間スポーツ関連団体等を含めて、十分な連携の上でマップを作成することが重要である。

#### 好事例紹介

兵庫県:神戸マラソンでの医療救護支援。健康スポーツ医だけでなく、県下医療機関の医師も含め、 毎年40名以上が救護所などで協力している。

新潟県:スポーツ医が障害者リハビリテーションセンターの運営に携わり、利用者に対して、楽しむ「生涯スポーツ」を目指した、さまざまなスポーツを取り入れている。また、県の障害者スポーツ協会役員としても、県内各地にてスポーツ教室や各種競技大会の開催を行う等、本県における障がい者スポーツの発展に積極的に取組んでいる。

#### 健康スポーツ医の課題

最後に、健康スポーツ医の課題として以下の項目が挙がった。

- ・活動の場が少ない(モチベーションの低下)
- メリットが感じられない
- 診療報酬などのインセンティブがない
- ・新規申請者が少ない
- ・更新単位取得のための研修会が少ない

## 表紙写真の募集

山口県医師会報の表紙を飾る写真を随時募集しております。 アナログ写真、デジタル写真を問いません。 ぜひ下記までご連絡ください。 ただし、山口県医師会員撮影のものに限ります。

〒753-0814 山口市吉敷下東3-1-1 山口県医師会総務課内 会報編集係 E-mail: kaihou@yamaguchi.med.or.jp